

箱根町設計業務委託等成績評定要領

(目的)

第1 この要領は、箱根町が発注する設計業務委託等の成績評定（以下「評定」という。）に必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって業者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

(評定の対象)

第2 評定の対象となる設計業務委託等（以下「業務」という。）は、次の各号に掲げる業務のうち、原則として1件の契約金額が150万円以上のものとする。

- 一 測量、地質調査業務
- 二 計画検討、解析等調査業務
- 三 設計業務
- 四 工事監理業務

(評定者)

第3 設計業務委託等の成績評定者（以下「評定者」という。）は、監督員、副課長等及び検査員とする。

(評定の方法)

第4 評定は、別に定める「箱根町設計業務委託等成績評定採点基準」により、発注業務ごとに独立して行う。

2 評定は、業務の監督又は検査により確認した事項に基づき、評定者ごとの考査項目についての的確かつ構成に行い、設計業務委託等成績採点表（以下「採点表」という。）に記入する。

3 手直し業務確認後の評定は行わない。

(評定の様式)

第5 評定は、次の各号に掲げる業務の採点表による。

- 一 測量、地質調査業務は、第1号様式
- 二 計画検討、解析等調査業務は、第2号様式
- 三 設計業務は、第3号様式
- 四 工事監理業務は、第4号様式

(採点表の提出等)

第6 監督員及び副課長等の評定者は業務の完了後、それぞれの考査項目について評定を行い、所属長の決裁後完成検査時に検査員に提出する。

2 検査員は検査後に、検査員考査項目について評定を行い、評定点の合計点を算出し、採点表を付して評定結果を町長に報告するものとする。

(評定点の受託者への通知)

第7 町長は、受託者に対して、設計業務委託等成績評定通知書（第5号様式、第8において「通知書」という。）により評定結果を通知するものとする。

(説明請求)

第8 第7による通知書を受けた受託者は、受領した日から14日以内に、町長に対し書面により評定結果の説明を求めることができる。

(説明請求に対する回答)

第9 町長は、第8による評定結果の説明を求められた場合、速やかに書面により回答しなければならない。

(評定点の公表)

第10 評定結果は、年度ごとにまとめ町ホームページで公表するものとする。

- 2 公表内容は、業務委託名、受注者名、完成検査日、契約金額及び評定点とする。
- 3 前項の規定による公表期間は、検査を実施した年度の翌年度から3年間とする。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和5年8月15日から適用する。

第1号様式

(測量・地質調査)

設計業務委託等成績採点表

課名: _____

設計業務委託等名		業者名						契約金額(最終)		円			
契約工期		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで				完成年月日		平成 年 月 日		完成検査年月日		平成 年 月 日	
考 察 項 目		監 督 員			副 課 長			考 察 項 目		検 査 員			
		氏名			氏名					氏名			
項 目	細 別	a	b	c	a	b	c	項 目	細 別	a	b	c	
1. 業務の実施計画 段階 (±16)	(1)業務の理解 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3	1. 業務の実施計画 段階 (±8)	(1)業務の理解 (A)	+4	0	-4	
	(2)事前準備 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3		(B)	+4	0	-4	
	(B)	+3	0	-3	+3	0	-3						
	(3)打合わせ協議 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2						
	(4)業務実施計画書 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3						
	(B)	+2	0	-2	+2	0	-2						
加減点計		① ± 点			± 点			加減点計		① ± 点			
段階評定A		① + (60 × 0.4) 点						段階評定A		① + (60 × 0.2) 点			
2. 業務の遂行段階 (±16)	(1)打合わせ協議 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2	2. 業務の遂行段階 (±8)	(1)技術力 (A)	+4	0	-4	
	(B)	+2	0	-2	+2	0	-2		(B)	+4	0	-4	
	(C)	+2	0	-2	+2	0	-2						
	(2)工程管理 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2						
	(B)	+2	0	-2	+2	0	-2						
(3)照 査 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2							
(4)技術力 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2							
(5)目的の達成度 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2							
加減点計		② ± 点			± 点			加減点計		② ± 点			
段階評定B		② + (60 × 0.4) 点						段階評定B		② + (60 × 0.2) 点			
3. 業務の成果品 (±8)	(1)とりまとめ (A)	+2	0	-2	+2	0	-2	3. 業務の成果品 (±24)	(1)とりまとめ (A)	+4	0	-4	
		(B)	+3	0	-3	+3	0		-3	(B)	+4	0	-4
		(C)	+3	0	-3	+3	0		-3	(C)	+4	0	-4
	(D)								(D)	+4	0	-4	
	(2)照査 (A)	+4	0	-4				(A)	+4	0	-4		
	(B)	+4	0	-4				(B)	+4	0	-4		
加減点計		③ ± 点			± 点			加減点計		③ ± 点			
段階評定C		③ + (60 × 0.2) 点						段階評定C		③ + (60 × 0.6) 点			
4. 段階評定計 (A+B+C) × 配分比率		× 0.6 = 点			× 0.4 = 点			4. 段階評定計 A+B+C		点			
評定点合計		〔監督員 + 副課長〕 × 0.5〕 - (事故減点) + (検査員 × 0.5)						合計点		点			
所 見		(監督員)			(副課長)			(検査員)					

※1 考察項目細別の a, b, c のどれか1つに○を付けて加減点算出する。
 ※2 段階評定(1. 2. 3.)を算定式により算出する。
 ※3 段階評定の計を算出する。
 ※4 評定点の合計点を算定式により算出する。

※5 所見に特別の事項があれば記入する。
 ※6 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
 ※7 本設計業務等成績評定表は速やかに監督員、副課長等において採点し決裁の後、検査員に提出すること。

第2号様式

(計画検討・解析調査等)

設計業務委託等成績採点表

課名: _____

設計業務委託等名		業者名						契約金額(最終)			円		
契約工期		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで						完成年月日			平成 年 月 日		
考 察 項 目		監 督 員			副 課 長			考 察 項 目		検 査 員			
		氏名	a	b	c	氏名	a			b	c	氏名	a
1. 業務の実施計画 段階 (±20)	(1)業務の理解 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3	1. 業務の実施計画 段階 (±8)	(1)業務の理解 (A)	+4	0	-4	
	(2)事前準備 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3		(B)	+4	0	-4	
	(3)打合わせ協議 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2						
	(4)業務実施計画書 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3						
		(B)	+3	0	-3	+3	0		-3				
		(C)	+3	0	-3	+3	0		-3				
(D)		+3	0	-3	+3	0	-3						
加減点計		① ± 点			± 点			加減点計		① ± 点			
段階評定A		① + (60 × 0.5)			点			段階評定A		① + (60 × 0.2)			
2. 業務の遂行段階 (±16)	(1)打合わせ協議 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2	2. 業務の遂行段階 (±4)	(1)技術力 (A)	+4	0	-4	
		(B)	+2	0	-2	+2	0		-2				
		(C)	+2	0	-2	+2	0		-2				
	(2)工程管理 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2						
		(B)	+2	0	-2	+2	0		-2				
		(3)照 査 (A)	+2	0	-2	+2	0		-2				
(4)技術力 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2							
(5)目的の達成度 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2							
加減点計		② ± 点			± 点			加減点計		② ± 点			
段階評定B		② + (60 × 0.4)			点			段階評定B		② + (60 × 0.1)			
3. 業務の成果品 (±4)	(1)とりまとめ (A)	+2	0	-2	+2	0	-2	3. 業務の成果品 (±28)	(1)技術力 (A)	+4	0	-4	
		(B)	+2	0	-2	+2	0		-2	(B)	+4	0	-4
									(2)とりまとめ (A)	+4	0	-4	
							(B)		+4	0	-4		
							(C)		+2	0	-2		
							(D)		+2	0	-2		
							(E)	+2	0	-2			
							(3)照査 (A)	+3	0	-3			
							(B)	+3	0	-3			
加減点計		③ ± 点			± 点			加減点計		③ ± 点			
段階評定C		③ + (60 × 0.1)			点			段階評定C		③ + (60 × 0.7)			
4. 段階評定計 (A+B+C) × 配分比率		× 0.6 = 点			× 0.4 = 点			4. 段階評定計		A+B+C 点			
評定点合計		〔監督員 + 副課長〕 × 0.6〕 - (事故減点) + (検査員 × 0.4)						合計点			点		
所 見		(監督員)				(副課長)		(検査員)					

※1 考察項目細別の a, b, c のどれか1つに○を付けて加減点算出する。
 ※2 段階評定(1. 2. 3.)を算定式により算出する。
 ※3 段階評定の計を算出する。
 ※4 評定点の合計点を算定式により算出する。

※5 所見に特別の事項があれば記入する。
 ※6 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
 ※7 本設計業務等成績評定表は速やかに監督員、副課長等において採点し決裁の後、検査員に提出すること。

第3号様式

(設計業務)

設計業務委託等成績採点表

課名: _____

設計業務委託等名		業者名						契約金額(最終)		円					
契約工期		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで						完成年月日		平成 年 月 日		完成検査年月日		平成 年 月 日	
考 察 項 目		監 督 員			副 課 長			考 察 項 目		検 査 員					
		氏名			氏名					氏名					
項 目	細 別	a	b	c	a	b	c	項 目	細 別	a	b	c			
1. 業務の実施計画 段階 (±12)	(1)業務の理解 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2	1. 業務の実施計画 段階 (±4)	(1)業務の理解 (A)	+2	0	-2			
	(2)事前準備 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2		(B)	+2	0	-2			
	(B)	+2	0	-2	+2	0	-2								
	(3)打合わせ協議 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2								
	(4)業務実施計画書 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3								
	(B)	+1	0	-1	+1	0	-1								
加減点計		① ± 点			± 点			加減点計		① ± 点					
段階評定A		① + (60 × 0.3)			点			段階評定A		① + (60 × 0.1)			点		
2. 業務の遂行段階 (±20)	(1)打合わせ協議 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2	2. 業務の遂行段階 (±8)	(1)技術力 (A)	+4	0	-4			
	(B)	+3	0	-3	+3	0	-3		(B)	+4	0	-4			
	(C)	+2	0	-2	+2	0	-2								
	(2)工程管理 (A)	+2	0	-2	+2	0	-2								
	(B)	+2	0	-2	+2	0	-2								
(3)照 査 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3									
(4)技術力 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3									
(5)目的の達成度 (A)	+3	0	-3	+3	0	-3									
加減点計		② ± 点			± 点			加減点計		② ± 点					
段階評定B		② + (60 × 0.5)			点			段階評定B		② + (60 × 0.2)			点		
3. 業務の成果品 (±8)	(1)とりまとめ (A)	+2	0	-2	+2	0	-2	3. 業務の成果品 (±28)	(1)技術力 (A)	+3	0	-3			
	(B)	+3	0	-3	+3	0	-3		(B)	+4	0	-4			
	(C)	+3	0	-3	+3	0	-3		(C)	+4	0	-4			
									(D)	+2	0	-2			
								(E)	+2	0	-2				
								(3)照査 (A)	+4	0	-4				
								(B)	+4	0	-4				
加減点計		③ ± 点			± 点			加減点計		③ ± 点					
段階評定C		③ + (60 × 0.2)			点			段階評定C		③ + (60 × 0.7)			点		
4. 段階評定計 (A+B+C) × 配分比率		× 0.6 = 点			× 0.4 = 点			4. 段階評定計 A+B+C		点					
評定点合計		〔監督員 + 副課長) × 0.4〕 - (事故減点) + (検査員 × 0.6)						合計点		点					
所 見		(監督員)			(副課長)			(検査員)							

- ※1 考察項目細別の a, b, c のどれか1つに○を付けて加減点算出する。
- ※2 段階評定(1. 2. 3.)を算定式により算出する。
- ※3 段階評定の計を算出する。
- ※4 評定点の合計点を算定式により算出する。

- ※5 所見に特別の事項があれば記入する。
- ※6 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- ※7 本設計業務等成績評定表は速やかに監督員、副課長等において採点し決裁の後、検査員に提出すること。

第4号様式

設計業務委託等成績採点表

(工事監理業務用)

設計業務等委託名		業者名		契約金額(最終)		円			
契約工期		完成年月日		完成検査年月日					
考察項目		調査職員			技幹等			検査員	
項目	細別	氏名	a	b	c	氏名	a	b	c
1. 業務の実施計画 段階(±12)	(1)業務の理解 (A)		+2	0	-2		+2	0	-2
	(2)事前準備 (A)		+2	0	-2		+2	0	-2
	(B)		+2	0	-2		+2	0	-2
	(3)打合せ協議 (A)		+2	0	-2		+2	0	-2
	(4)業務実施計画書(A)		+4	0	-4		+4	0	-4
加減点計 ①			± 点				± 点		
段階評価A ①+(60×0.3)			点				点		
2. 業務の遂行計画 (±20)	(1)打合せ協議 (A)		+2	0	-2		+2	0	-2
	(B)		+5	0	-5		+5	0	-5
	(2)行程管理 (A)		+2	0	-2		+2	0	-2
	(B)		+2	0	-2		+2	0	-2
	(3)照査 (A)		+3	0	-3		+3	0	-3
(4)技術力 (A)		+3	0	-3		+3	0	-3	
(5)目的の達成度 (A)		+3	0	-3		+3	0	-3	
加減点計 ②			± 点				± 点		
段階評価B ②+(60×0.5)			点				点		
3. 業務の成果品 (±8)	(1)とりまとめ (A)		+2	0	-2		+2	0	-2
	(B)		+3	0	-3		+3	0	-3
	(C)		+3	0	-3		+3	0	-3
加減点計 ③			± 点				± 点		
段階評価C ③+(60×0.2)			点				点		
4. 段階評定計 (A+B+C)×配分比率			×0.6= 点				×0.4= 点		
4. 段階評定計			A+B+C				A+B+C		
評定点合計	[(調査職員 + 技幹等) × 0.4] - (事故減点)					+(検査員 × 0.6)		(合計点) 点	
所見	(調査職員)			(技幹等)			(検査員)		

- *1 考察項目細別のa, b, cのどれか1つに○を付けて採点する。
- *2 段階評定(1, 2, 3)を算定式により算出する。
- *3 段階評定の計を算出する。
- *4 評定点の合計点を算定式により算出する。

- *5 所見に特別の事項があれば記入する。
- *6 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- *7 本設計業務等成績評定表は速やかに調査職員・技幹等において採点し決済の後、検査員に提出すること。

年 月 日

様

箱根町長

設計業務委託等成績評定通知書

次の設計業務委託等について、完成検査に合格したので評定結果を通知します。
 なお、評定結果に疑問がある場合は、通知を受領した日から起算して 14 日以内に、
 町長に対し説明を求めることができます。
 評定結果は、年度ごとにまとめ町ホームページで公表されます。

1 設計業務委託等の名称

2 委託期間 年 月 日 ～ 年 月 日

3 検査年月日 年 月 日

4 評定点

設計業務委託等の成績評定点のランク

ランク	評価の標準値	総合評価の標準
A	80 点以上	契約内容及び指示事項どおりに完成し成果品の出来ばえが極めて優秀なもの
B	70～80 点未満	契約内容及び指示事項どおりに完成し成果品の出来ばえが良好なもの
C	60～70 点未満	契約内容及び指示事項どおりに完成し成果品の出来ばえが標準的なもの
D	50～60 点未満	契約内容及び指示事項は概ね完成しているが、直しが一部あるもの
E	50 点未満	契約内容及び指示事項どおりに完成しておらず、成果品の出来ばえも劣り手直しが著しく多いもの